



自動運転とLiDAR

自動運転は、安全で便利なモビリティに欠かせない技術である。2017年春季に自動運転全体について法整備の話まで含めて特別シンポを開催したが、現在最もホットなテーマは LiDAR (Light Detection And Ranging) であろう。そこで、LiDARのシステムからコンポーネントまで、応用物理の研究テーマとしてどんな研究をすべきなのか俯瞰・議論する場として特別シンポジウムを開催する。基調講演にはデンソーの森川氏にLiDARシステム 全体について俯瞰いただいた後、コンポーネントであるレーザ光源、メカレス光スキャナ(Si フォトニクスや電気光学結晶、液晶)、検出回路まで議論する。

名古屋国際会議場

1号館 141会場

入場無料

2018年9月18日(火)

13:00~17:50



森川 勝博
(デンソー)



野田 進
(京都大学)



馬場 俊彦
(横浜国立大学)



菅井 栄一
(NTT-AT)



上塚 尚登
(SteraVision)



崔 明秀
(東芝)

プログラム

13:00 はじめに

鈴木 誠二 (パナソニック)

① 13:10 自動運转向けLiDARの動向

森川 勝博 (デンソー)

② 14:00 光源 : 高輝度・高性能レーザ

野田 進 (京都大学)

③ 14:40 スキャナ : Si で光を操る

馬場 俊彦 (横浜国立大学)

15:20~15:40 休憩

④ 15:40 スキャナ : KTN結晶で光を曲げる

菅井 栄一 (NTT-AT)

⑤ 16:20 スキャナ : 多層液晶で光を曲げる

上塚 尚登 (Stera Vision)

⑥ 17:00 回路 : レーザを捉える

崔 明秀 (東芝)

17:40 おわりに

西川 恒一 (豊田中央研究所)